

# チェックワン

10A~20A 架橋ポリエチレン管・ポリブテン管に

## ワンタッチで取り付けができます! 取り外しも可能

※水圧検査用です

検査後は正式な継手を使用してください

オプション品

キャップ  
ナット  
(パッキン付)  
G 1/2※

※10A~20A用共通

13A×G1/2

13A回転エルボ

湯水  
接続例

13A×2



360°回転できます

各サイズ追加!!



10A×R1/2



16A×R1/2※



20A×R1/2

R1/2部にキャップナット取付け可能

※16Aポリブテン管を使用する場合は管端にテーパを付けます(裏面参照)

## 仕様

最高使用圧力	1.75MPa	使用流体温度	常温(20±15℃)
使用流体	水道水 ※1		

※1 本製品は、配管の水圧検査を行う際に、樹脂管の端部に容易に取り付け、取り外しができる**水圧検査用**の製品です。空気圧検査には使用しないでください。

適合管種	10A	13A	16A	20A	適合管種	10A	13A	16A	20A
架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769 PN15 M種XM)	○	○	○	○	ポリブテン管 (JIS K 6778 J種)	○	○	○※2	○
架橋ポリエチレン管 (JIS K 6769 PN15 E種XE)	×	×	○	○	ME架橋ポリエチレン管 (日本水道協会認証品)	—	○	○	○
水道用架橋ポリエチレン管 (JIS K 6787 M種XM)	○	○	○※2	○	暖房用架橋ポリエチレン管 (JXPA 401)	○	×	—	—
水道用架橋ポリエチレン管 (JIS K 6787 E種XE)	×	×	○	○					

※2 管端にテーパ付けが必要(下記参照)。

○: 使用可 ×: 使用不可 —: 規格無し

## 施工手順

**手順1** パイプカッターを使用して管端が管軸に対して直角になるように切断します。2mmを超える斜めの切断はしないでください。

**手順2** 適合する樹脂管であることを確認後、本製品を袋から取り出します。

**呼び径16Aポリブテン管を使用する場合**

樹脂管外径部にテーパ付け(呼び径16Aポリブテンでのみ必要)をして取り付けてください。




▲ポリブテン管 テーパ加工前 ▲ポリブテン管 テーパ加工後

樹脂管を差し込む前に脱着キャップのA部テーパ加工面です。必ず管外径部にテーパを付けてください。



▲A部加工面にポリブテン管を差し込みます。

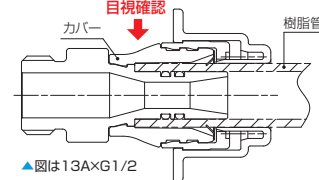
A部に樹脂管を差し込み、強く押し付けながら、継手を5回転程時計回りに回すことでテーパが付きます。

管外径にテーパが付いていない状態で管を差し込むと内部のOリングを傷つけ、止水不良になる恐れがあります。



▲ポリブテン管 テーパ加工方法

**手順3** 樹脂管が製品の奥に突き当たるまで確実に差し込みます。樹脂管が奥まで差し込まれていることを目視で確認してください。



▲図は13A×G1/2

**手順4** 樹脂管を手で引張り、抜けないことを確認します。樹脂管が差し込まれていることを再確認します。


**手順5** テストポンプで水圧をかけ配管内のエア抜きを行います。

**手順6** エア抜き後、ねじに、オプション品のキャップナットをねじ込み止水し、水圧検査を行います。(回転エルボ除く)

**手順7** 水圧検査が終了したら、キャップナットを緩め圧力を抜きます。

**樹脂管の取り外し手順**

**手順8** 樹脂管の取り外しは、樹脂管に食い込んだストッパを開放しやすくするため、樹脂管を再度奥まで差し込んでください。



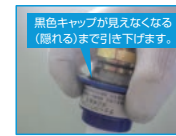
▲樹脂管を再度奥まで差し込みます。

▲継手取り外し前

**手順9** 次に、青色の脱着キャップを黒色のキャップが見えなくなる(隠れる)まで引き下げた状態で、継手全体を回転させながら樹脂管を引き抜きます。



▲継手をつかみます。



▲青色の脱着キャップを黒色のキャップが見えなくなる(隠れる)まで引き下げます。

**手順10** 青色の脱着キャップを引き下げた状態で、継手全体を回転させながら樹脂管を引き抜きます。



**手順11** 取り外し後は、樹脂管にストッパ痕(傷)が残りますので、管端から50mm以上の位置で切断したうえでご使用ください。樹脂管の傷は、漏水の原因になります。

### 安全にお使いいただくために

- 樹脂管挿入部の内外面及び継手にキズ・汚れ・ゴミの付着が無いことを確認してください。樹脂管及び本製品のキズ・汚れ・ゴミの付着は漏水の原因となります。
- ねじ込みの際、レンチ等を使用する場合には、六角部に掛けて使用してください。※樹脂部があるため、過度な力を加えると変形、破損する恐れがあります。
- キズや座屈の生じた樹脂管は使用しないでください。
- 本製品を再度使用するときは、本製品の梱包袋に入れて保管するなど、内部にゴミが混入しないようにしてください。
- 13A×G1/2のねじは、樹脂製のため、ねじゲージに適合していない場合があります。
- 実際の施工にあたっては、取扱説明書を熟読してください。

